職場環境等要件（介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）要件）

区分	法人の取り組み
入職促進に向けた取組	① 事務所内に法人理念、施設理念を掲示し、共有を図っている。また、新規採用者育成計画（育成方法・目標等）を作成している 毎年度、事業計画書と事業報告書を作成し、施設建物内で外部から見える場所へ設置している
	③ 未経験中高年者の採用実績あり。業務に必要な研修、資格取得を支援している。
	④ 地域の中学校から職業体験を受入れ、職業魅力度向上の取組を実施している。
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	⑤ 受講料や研修費等の補助、勤務シフトの考慮等を行う事により、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。 働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講料補助などの資格取得支援をしている。
	⑧ 上位者（管理者）と面談を行い、仕事上の悩みやキャリアアップ等に関する相談を行っている。
両立支援・多様な働き方の推進	⑩ 職員の事情（家庭、体調等）に応じた勤務シフトの作成をしている。 非正規職員から正規職員への転換の実績あり。
	⑪ すべの職員が、期間中に付与される有給休暇日数の 50%以上の利用を目標としている。 取得状況を定期的に確認し、施設長等から積極的な声掛けを行っている。
腰痛を含む心身の健康管理	⑬ 業務や福利厚生制度の相談窓口、メンタルヘルスの相談窓口担当者を指定し、相談窓口を設けている。 ⑭ 全職員の定期的な健康診断、全介護職員の腰痛健診を実施している。 職員の休憩を一斉に取り、そのためのスペースも確保している。 ⑯ 事故防止マニュアル、苦情対応マニュアル等を作成閲覧可能な場所に設置している。
生産性向上のための取組	⑰ 担当者を指定し委員会を設置している。担当者の外部研修等の活用をしている。 ⑱ ⑲ 生産性向上ガイドラインに基づく「現場の課題の見える化」「5S 活動」に向けた取り組みは現在準備中です。 ⑳ 業務手順書を作成し指導時等に活用している。 記録・報告様式を出来るだけ簡略化する等、情報共有や作業負担の軽減を行っている ㉑ 複数台のパソコンと介護ソフトの活用による情報共有、記録の電子化により業務負担を軽減している。
やりがい・働きがいの醸成	㉕㉘毎日定刻にミーティングを行い、業務内容やケア内容の改善を図っており、全ての職員にフィードバックしている。 入居者・家族懇談会やアンケートを行い、謝意等の情報を共有する機会を設けている。
	㉗ 年間の研修計画を立て、実施している。

令和7年4月1日現在